



ロシアNIS経済速報

一般社団法人 ROTOBO

2025年(令和7年)12月15日号 No.2010

目次

■ 2024年の日ロ貿易(確定値)	1
■ 統計速報	12
2025年1～10月の日本の対ロシア・NIS諸国輸出入通関実績	12
2025年1～10月の日ロ貿易	13
■ トピックス	16
プーチン大統領、インドを訪問	16
ロシア中銀、海外送金の規制を緩和	16

2024年の日ロ貿易(確定値)

解説

財務省から先日、2024年の貿易統計の確定値が発表された。今号では2024年1～12月の日本とロシアの間の貿易の確定値(米ドル換算)を紹介する。

昨年の日本とロシアの貿易額は約78億8,661万ドルとなり、前年の約77%にとどまった。侵攻前の2021年には220億ドルに達していたが、3分の1の水準にまで縮小した。貿易額が100億ドルを下回るのは2004年以来である。制裁の強化による輸出入制限に加え、日系企業の撤退や事業停止が続いたことで、2024年も縮小傾向に歯止めがかからなかった。

日本からロシアへの輸出は自動車、機械、電気機器など大半の品目で前年を下回り、全体では前年と比べ24.2%減の21億6,683万ドルとなった。日本のロシアからの輸入は石炭や非鉄金属などの落ち込みが続き、前年より23.1%減の57億1,979万ドルにとどまった。

輸出では、中古乗用車が全体の65%を占めたものの、台数・金額ともに減少し、3年ぶりに20万台を割り込んだ。医薬品や化粧品、たばこ、コーヒー類が伸びた。一方で、鉄鋼・金属製品は37.2%減、機械は建設・鉱山用機械の輸出がゼロとなり大幅に縮小した。さらに日本政府が非工業用ダイヤモンドの輸入禁止や自動車用エンジンオイル・リチウムイオン電池の輸出禁止を実施したことで、エンジンオイルは数量・金額ともに4分の1に減少した。

輸入では、LNGが63.4%、魚介類が15.1%、非鉄金属が10.2%を占めた。LNGは前年比13.1%減、魚介類は7.4%減、非鉄金属は27.8%減となり、原油輸入はゼロが続いた。石炭は数量でも大幅減少し、フェードアウトが進んだ。魚介類ではかきの輸入が数量・金額ともに増加し、平均輸入価格が約13%上昇した。パラジウムは数量増(+21.9%)だが金額減(-11.6%)となり、価格が約28%下落した。アルミニウムは50%超の減少で縮小傾向が鮮明となった。一方、木材は12.4%増加し、輸入全体の3.6%を占めた。

(齋藤 大輔／橋之爪 理佳)